

病院理念 人にやさしく 信頼される病院

基本方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。
私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
羽咋郡市広域圏事務組合

公立羽咋病院

〒925-8502 石川県羽咋市的場町松崎24番地
TEL(0767)22-1220 FAX(0767)22-5598
<https://www.hakuihp.jp/>

大腸内視鏡検査について



近年大腸がんが増加していることが問題となっています。胃や食道、大腸等の消化管のがんは病変が小さい状態では自覚症状が現れることは少なく、痛みや吐き気、便秘や血便等の症状が出現したところには腫瘍が増大して進行がんの状態になっていることが多いです。がんの治療のためには、発がんの予防や早期発見、早期治療が重要ですので、消化管のがんに対しては定期的な内視鏡検査による早期発見が非常に重要な役割を担っています。

大腸がんの大半は大腸ポリープから発育することがわかっており、内視鏡検査によって小さなポリープの内に発見・切除することが大腸がんの予防につながります。当院の大腸内視鏡検査では拡大内視鏡とって、顕微鏡のようにズームして病変を観察できる機能がついた機材を使用しており、ポリープを発見した場合、病変を拡大して観察した上で治療方法を検討しています。病変のサイズや拡大観察による良性、悪性の判断を行い、①スネアという金属の器具をかけて切る方法、②スネアをかけ、更に電気を通電して焼き切る方法の2つを選択し治療しています。

上記の方法で切除できないような大きな病変を発見した場合、良性の病変や早期がんを疑う場合には高次医療機関へご紹介させていただいた上で、内視鏡にて大きな病変を切除する方法として内視鏡的粘膜下層剥離術による治療をお勧めしています。また、内視鏡での切除が困難な進行がんを疑う場合には手術による切除をお勧めしています。

大腸ポリープ切除を行った後、稀ではありますが、合併症として治療後部位からの大きな出血を来す場合や、穿孔とって大腸に穴が開いてしまうことがあります。合併症が起きていないことの確認、または起きた場合に早急な対応をするために、当院では経過観察を目的として治療後に1泊の入院をお願いしています。

検査後にご質問頂くことが多いことは、その後の大腸検査をいつ受ければいいのかということです。大腸内視鏡スクリーニングガイドライン(2020年発行)によりますと、異常がなかった場合は検診での便潜血検査を継続、2個以内の良性病変を認めた場合は3～5年以内、3～9個の良性病変を認めた場合は3年後、10個以上・サイズが大きい・悪性または悪性に近い良性病変を認めた場合は1年後の再検査が推奨されています。患者さん個々人の検査結果に応じてその後の検査につきましてもご説明させていただきます。

内視鏡検査にてご希望・ご質問がありましたら、気軽に主治医にご相談ください。

内科医長 杉山 絃



『採血』小話

家庭で
役立つ
情報

ヒトの身体は60兆個の細胞でできており、血液が酸素や栄養素を運ぶことで私たち（のなかの細胞）は生きています。血液は体重の約1/13あり、水分、酸素を運ぶ赤血球、体を作る材料や身体を守る成分などを含みます。また身体に異変があるとその細胞由来の成分が血液の中に出てきます。そのため医師が必要と判断した場合に『採血』して検査をします。検査結果をもらったら“検査科だより”（正面玄関付近に設置）も是非お持ち帰りください。血液が皆さんの身体の状態を教えてくださいますよ。



今年四月から、臨床検査技師も中央処置室で採血しています。検査に関する疑問等、どうぞ気軽にお声かけください。

臨床検査科 主任臨床検査技師 脇坂 典子

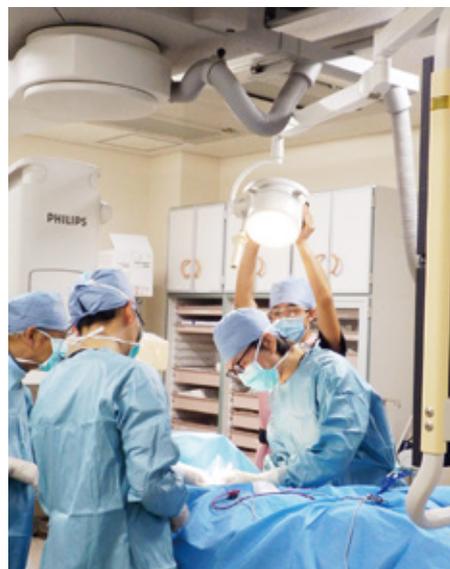
タスクシフト・タスクシェアについて

「医師の働き方改革」推進のため、医師のタスク（業務）の一部を任せるタスクシフト（業務移管）ならびに業務を分け合うタスクシェア（業務の共同化）が求められています。これは看護師ばかりでなく、診療放射線技師や臨床検査技師、臨床工学技士も医師の業務ができるように法改正が行われたことにより、当院においても業務の垣根を取り払い、積極的に取り組みを行っています。放射線技師による造影剤の注射、臨床検査技師による採血、臨床工学技士の手術室業務など、これから臨床の現場において様々なライセンスを持つスタッフがその業務を担っていきます。

副院長 荒井 謙一



写真右端が臨床工学技士（心カテ室）



写真右奥が臨床工学技士（心カテ室）

出前講座報告

令和5年6月2日・14日に、「気管カニューレの管理・取り扱い」という内容で、志賀町富来地区にある介護医療院「悠悠」で講義をさせていただきました。気管カニューレは呼吸を楽にするために、喉に管を入れるのですが、そのかわりに大事な声を失います。講義では特に話せない方の気持ちに寄り添ったコミュニケーションの方法や環境を整えることの大切さについてお話をさせていただきました。看護師だけでなく多職種が参加されており、皆さんで患者さんを支援したいという熱く強い思いを感じる研修でした。

2階病棟 主任看護師 中川 のぶ子



受講者の感想

気管カニューレ管理とIVH管理の研修の講師を派遣していただきありがとうございました。看護師や介護員等20人が受講することができました。

看護師より「実際のカニューレやポート針を触ることができてよかった」、「手順等最新の情報を知ることが出来た」、「多職種からは実際に関わっていないので実践できるかわからないが、看護師と一緒に実践できそうだ」という感想が多数ありました。

出前講座のご相談は医療サービス推進室 山中まで 0767-22-1264

開放病床運営委員会・症例検討報告会



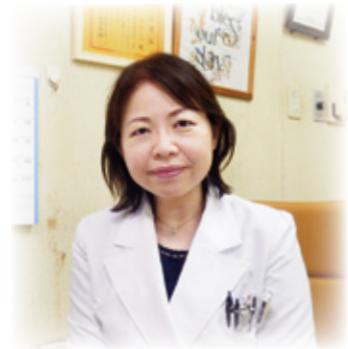
令和5年6月19日、令和5年度第1回病院機能分化推進委員会・開放病床運営委員会がハイブリッド形式で行われました。今回は、登録医の先生から紹介があった患者さんを高次機能病院へ繋いだ事例の検討会が行われました。開放病床登録医の先生方と当院の医師とで活発な意見交換が行われました。今後も患者さんの状態に応じて医療機関同士が協力し、地域全体で切れ目のない医療を目指していきます。

2階病棟/医療サービス推進室 副看護師長
松田 真弓

連携介護保険事業所 紹介

当クリニックは、主に生活習慣病や認知症の方の診察を行っており、通院が困難な方には訪問診療も行っております。また、企業の産業医や健診事業を通して、働き盛りの方の健康管理にも積極的に取り組んでおります。

介護医療院 笑福は、羽咋病院など急性期病院で治療を終えられた後、自宅への退院が困難な方、脳血管疾患、認知症、廃用症候群などで長期の療養が必要な方のための施設です。スタッフ一同「笑顔」を大切に、気軽に相談できるクリニックを目指しております。



加藤クリニック／介護医療院 笑福

住 所：志賀町高浜へ1-1

電 話：0767-32-1251（共通）

診療科：内科

院長兼施設長 加藤 理良



私の故郷は京都です。癒しへと誘ってくれる名所が多い所ですが、歌舞伎をはじめとする多彩なエンタテインメントの中心である南座も眼福できる素敵な所の1つです。有形文化財でもある南座の建物内部は館内見学ツアーもされています。レトロモダンな造りに真紅を基調とした雰囲気を感じ、花道然り舞台と観客席の近さも時間を忘れ引き込まれてしまう魅力の1つです。京都への旅行の際に観劇を組まれてみるというのもいかがでしょうか。

感染制御室 事務補助員 小森 和歌子

照明更新工事を行いました

令和4年11月から翌3月にかけて、照明更新工事を行いました。入院患者さんの療養環境向上やLED化による省電力化を目的として、各病棟西側及び院内各所の照明を更新しました。

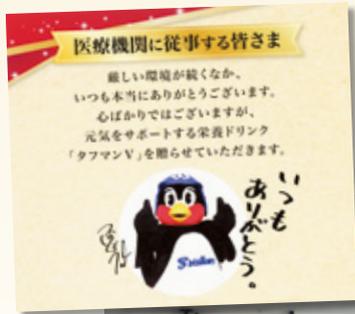
今後も、皆様に安全で快適にご利用いただけるよう、施設整備に努めてまいります。

総務課課長補佐 中村 啓亮



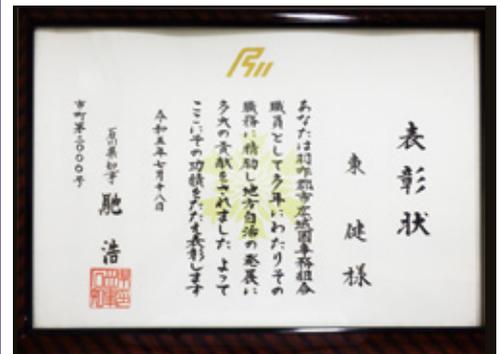
ご寄付ありがとうございます

4月27日、七尾ヤクルト販売株式会社から清涼飲料水（タフマンV）10ケースをご寄付いただきました。「医療従事者の方々への感謝」という目的で、能登地区の病院4カ所に寄贈されているとのことです。



表彰者

石川県知事表彰 医療功労者
参与 東 健



ありがとうございます

- ♥ なぎさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様
- ♥ 写 真 羽咋写真協会の皆様
- ♥ 絵 画 羽咋美術協会の皆様
- ♥ 書 字 羽咋市書道協会の皆様
- ♥ 俳 句 宝達志水町若輩会の皆様
- ♥ 園児の絵 羽咋白百合幼稚園



テーマ 虹



紫陽花の魅力のひとつにカラーバリエーションの豊富さがあります。色の違いは、土壌の酸性度によるものです。土壌の性質を利用して好みの色の紫陽花を作ることができます。ちなみに、白い紫陽花はもともと色素を持たない品種なので何色にも染まりません。花言葉は「寛容」や「一途な愛情」でどのような色にも染まらない洗練されたイメージから懐が広い意味を表す花言葉がついたとされています。

撮影・文：主任理学療法士
大西 公亮